

## 意見交換会で出された主な意見（団体別）

分類：1 地域活動 2 地域協働 3 地域振興 4 産業振興 5 女性の社会進出 6 その他

団体	分類	項目	主な意見
町内会	1	地域活動(生涯学習・生涯スポーツ)	・健康づくりという観点で、地域の中で生きがい活動(軽スポーツ、登山、趣味等)に取り組めればよいのではないかと。特に、高齢者の一人世帯が増えてきており、地域の中で一緒に活動していける機会を設けられればよいのではないかと。
町内会	1	地域活動(高齢者・女性の活躍)	・特に65歳位の女性の元気があるので、福祉環境の分野でのサロン活動を進めていってはどうかと。
町内会	1	地域活動(伝統文化の保存・さんさ踊り)	・さんさ踊りについて、地域だけでは人が集まらず、続けていくことが難しく、地域外からも人を集めており、地域そのものの踊りが廃れていくことが懸念される。また、参加者の高齢化も進んでおり、伝統文化を保存するという視点から、何か新しい施策、対応が必要になるのではないかと。
町内会	1	地域活動(町内会活動)	・以前に比べ、町内会活動に参加する人が少なくなっている。運動会などの行事ではマンネリ化しており、3年ほど前から敬老会に子どもをよぶということにも取り組んだが、参加者も固定化されてきている。
町内会	2	地域協働	・「地域協働のまちづくり」の機会を有効に活用することにより、地域コミュニティの結びつきも出てくるのではないかと。
町内会	6	交通・福祉(岩手医科大学の移)	・岩手医科大学の移転の影響が大きいのではないかと。特に高齢者が通うための足の確保などが必要ではないかと。
町内会	6	商業・交通(買物難民)	・郊外への大型店進出により、近くに日用品を売る店が少なくなってきたと。買物のため高齢者の交通利便を確保するなど、配慮が必要になってくるのではないかと。
町内会	6	施設の活用	・高松地区保健センターを地域でも活用できるようにできないかと。
町内会	6	施設の維持管理	・公園の維持管理を行っている老人クラブで委託を請けに行っているが、年々、高齢化し、地域で管理することが難しくなっている。

## 意見交換会で出された主な意見（団体別）

分類：1 地域活動 2 地域協働 3 地域振興 4 産業振興 5 女性の社会進出 6 その他

団体	分類	項目	主な意見
商工	4	産業振興(中心市街地)	・まちづくりは中心市街地に限ったものではない。総合計画という長期ビジョンに個性的なまちをもう少し具体的に示していくことが必要ではないか。
商工	4	産業振興(商業)	・今はネット通販など無店舗販売などが出てきている。郊外か中心市街地かということではなく、そういったことも見据えて、施策を掲げていく必要があるのではないか。
商工	4	産業振興(玉山区)	・玉山区の自立した経済圏の確立のため、玉山区の農業・商業・工業の均衡の取れた発展を望む。また、盛岡商工会議所玉山運営協議会と市とが迅速な連携を取りながら政策を進めていくため、玉山区の商工予算への配慮をお願いしたい。

## 意見交換会で出された主な意見（団体別）

分類：1 地域活動 2 地域協働 3 地域振興 4 産業振興 5 女性の社会進出 6 その他

団体	分類	項目	主な意見
玉山	1	地域活動(若者の参加)	・玉山区は、旧盛岡市に比べ、自治会の活動や行事がいろいろあるが、高齢者は地域で声かけをするとほとんど参加するが、若者は平日なかなか時間が取れず、参加する人が少ない。
玉山	1	地域活動(町内会活動)	・自治会の役員の問題もある。若者は忙しく、役員をやっても、役員会に出席できない。結局、高齢者の同じ顔ぶれとなり、今後ブラッシュアップしていかなければならないと思っている。
玉山	1	地域活動(若者の参加)	・災害時に地域でガレキ処理などに取り組んだが、仕事がある若者も時間を作り手伝ってくれた。地域活動への若者の参加が少ないが、いざというときは協力してくれるので、そんなに悲観することでもないと感じている。
玉山	1	地域活動(若者の参加)	・お祭りや運動会で若者を集めるのは難しいが、地域協働の集まりであると、若者が参加している。自分の地域の計画を自分たちで考え、作るということは若者を集めるのに良い戦略だったと思う。行政の大きな力だと思う。新しい総合計画には若者が地域にどんどん入るような戦略があったらよいのではないか。
玉山	1	地域活動(若者の参加)	・集まる理由に工夫が必要であると思う。従来の活動だけでは、若者は出てこないと思う。地域協働の取組など、工夫し、そういったことが読める総合計画になってもらえればよい。
玉山	2	地域協働	・地域協働ももう少し良い方法で定着、活性化すれば若者も参加するのではないか。
玉山	2	地域協働(子どもの参加)	・地域協働で、地域で子どもたちの意見を聴くことも取り組んでいるが、良い意見も出てくるし、また、両親である若い世代も関わってきてよいことだと思っている。
玉山	3	地域振興(地域資源の活用)	・啄木、農林業、姫神山、ユートランドなど玉山区にはいろいろな地域資源があるが、これかを活かした活性化づくりというものを大きく出していきたい。
玉山	3	地域振興(若者の定住・福祉施策)	・玉山区は、独身者の割合が旧盛岡市に比べると高いのではないかと思う。働く場所がないと若者は都市部へ行ってしまい、残るのは老人だけになってしまう。玉山区は特に高齢化対策、社会福祉の充実などが重要になってくると思う。
玉山	3	地域振興(人口減少・少子高齢化対策)	・地域によって高齢化や人口減少の状況が異なる。それぞれの人口構造を調べ、何をしなければならぬか考えなければならない。地域にあった施策が必要ではないか。
玉山	3	地域振興(中山間地域)	・思い切って沢内村のように冬の間だけでも集落移転をして、1箇所に集まるような施策を盛り込めれば、除雪や防災の面では安全な状況を作れるのではないか。中山間地域のことも検討してもらえれば。
玉山	3	地域振興(玉山区のあり方)・防災	・今は総合事務所や自治区、区長がおり、地域協議会があり、村時代と同じレベルの行政サービスを受けているが、10年のうちに内丸の市役所に通う機会が多くなり、役所が遠くなってしまふ。そこで、農林部を玉山区に置いてはどうか。都南には都市整備部など本部機能があるが、玉山にはない。都南のほうが連絡体制が充実している。防災面においても連絡体制の充実が重要である。
玉山	3	地域振興(玉山区)	・合併後、初めての総合計画の策定なので、計画策定に当たっては、旧盛岡市のときは少し違った発想が必要だと思う。玉山にも目を向けた計画を検討してほしい。

## 意見交換会で出された主な意見（団体別）

分類：1 地域活動 2 地域協働 3 地域振興 4 産業振興 5 女性の社会進出 6 その他

団体	分類	項目	主な意見
玉山	4	産業振興(雇用の確保)	・近くに働く場所があれば、子どもたちも近くに就職でき、親も近くにいるから安心できる。そのためには、あらゆる分野の仕事ができることが必要ではないか。I L Cの話もあるが、一次、二次産業の活性化も必要ではないか。
玉山	4	産業振興(農業)	・農業者は高齢者が多く、今後、担い手が不足して農地が荒れていくことを懸念している。農業に限らず、産業の振興は強く打ち出していきたい。
玉山	4	産業振興(農業)	・玉山区としては、産業振興の中で農林業の位置づけを強くしてほしい。
玉山	4	産業振興(第二次産業)	・盛岡市は第三次産業が中心だが、製造業にもっと力をいれてはどうか。
玉山	4	産業振興(企業支援)	・企業誘致ばかりだけでなく、市内に今ある企業、がんばっている企業に目を向け、フォローし、関連企業を引っ張ってくることも重要ではないか。
玉山	4	産業振興(企業誘致等)	・玉山区の地域資源を上手に使うって企業誘致や学校誘致をしてほしい。そういった部分が新しい計画に入っていくとよい。
玉山	4	産業振興(学校誘致・学校教育)	・教育環境の良い玉山区に高等学校や大学、学部を置き、教育拠点づくりをしても良いのではないか。
玉山	6	学校教育	・子どもが減るのはやむをえないが、小規模学校が増えてきている。学校教育の向上の面から考えると、交通手段は自然エネルギーバスで送迎するなどしながら、学校を再編し、教育環境を充実させる必要があると思う。地域づくりは、学校中心で動く部分もある。
玉山	6	交通・除雪	・地域では交通の便が良くなく、大雪の際には除雪等でも苦勞した。
玉山	6	交通・福祉	・交通手段がなく、不便なので、医療や福祉の面からもバスがあれば助かる。(福祉バス、買い物バスなど)

## 意見交換会で出された主な意見（団体別）

分類：1 地域活動 2 地域協働 3 地域振興 4 産業振興 5 女性の社会進出 6 その他

団体	分類	項目	主な意見
女性	2	地域協働	・町内会の活動は80代の高齢者が中心となるが、地域協働になると、学校や地域にある施設、消防団等が入ってくるので、若者の参加があり、とても刺激になっている。
女性	5	女性の社会進出 (子育て支援)	・盛岡市の合計特殊出生率が、国や県と比べ低いのは、「産みたい」環境ではないということではないか。女性が子どもを産んでも働き続けるには、保育所の問題がネックになってくると思う。
女性	5	女性の社会進出 (子育て支援)	・2015年度から新制度が始まり、保育サービスの選択肢が増えるが、サービスの質に不安がある。保育施策は、認可保育園を中心とした現状の施策を維持するという方向で取り組んでいただきたい。
女性	5	女性の社会進出 (介護支援)	・女性が働き続けるためには、家族の介護の面でも、介護施設の充実が必要であると思う。
女性	5	女性の社会進出 (労働環境)	・0～1歳児を預けられる保育園が少なく、職場復帰に苦労する。女性の場合、派遣職員やパートであることが多いので、休む(産休・育休)ことによりやめさせられてしまう。正社員以外にも目を向けてもらえれば。男性一人で家族を養うのが難しい時代になってきているので、女性の働く環境づくりに取り組んでいただきたい。
女性	5	女性の社会進出 (労働環境)	・女性が働き続けるには、労働時間もネックとなっている。雇用形態の変化などにより、休日、深夜も女性が働く状況になってきているが、労働時間をきっちり守ることとしないと、女性の能力を活用するといっても難しいのではないか。
女性	5	女性の社会進出 (労働環境)	・盛岡には大きな会社が少なく、労働環境が厳しい会社が多い。行政と企業とで人材育成、労働環境の改善などをテーマに研修や意見交換の場を持ち、企業側の意識を変えてほしい。
女性	5	女性の社会進出 (労働環境)	・中小企業であれば、人数が少ないので、産休や育休によって休まれるとその分を補うことが大変だと思うが、それを補うための様々な国などの補助メニューを企業のほうが知らず、活用していないことが多いのではないか。
女性	5	女性の社会進出 (人材育成)	・生活者としての女性の視点を行政の計画に生かすためにも、女性自身にやる気を出させ、教育し、社会全体でアプローチしていかなければならないと思う。女性の意識改革も必要であり、20～30代の女性を育てなければならぬと感じている。
女性	5	女性の社会進出 (女性の参画)	・様々な計画を策定するに当たり、審議する委員は学識経験者等が多いと思うが、様々な年代の身近な生活者の意見を聴く機会を充実させてはどうか。また、計画を策定したら終わりではなく、実際、どのように進められているのかが重要であると思う。
女性	5	女性の社会進出 (女性の登用)	・市役所においても女性の管理職の登用を積極的に取り組んでいただきたい。
女性	6	子育て支援	・乳幼児医療について、現物給付（窓口無料化）で受けられるようにしていただきたい。
女性	6	子育て支援	・もりパス(子育て応援パスポート)の協賛店の表示をもっと大きくしてわかりやすくしてはどうか。
女性	6	防災	・食糧の備蓄、寝具、暖房の整備など、避難所の環境整備に取り組んでいただきたい。
女性	6	交通	・冬期間の横断歩道の白線部分が滑りやすく危険である。解消していただきたい。

## 意見交換会で出された主な意見（団体別）

分類：1 地域活動 2 地域協働 3 地域振興 4 産業振興 5 女性の社会進出 6 その他

団体	分類	項目	主な意見
女性	6	交通・除雪	・ななっくの前のバス停付近に除雪した雪が山積みになっており、氷の塊となっている。停車するバスが混み合うとバス停からずれて氷の塊のところに停車することもあり、大変危険である。改善していただきたい。
女性	6	施設設備	・老人福祉センターや児童センターのトイレが男女共用のものがああり、利用しにくい。また、和式が多く、高齢者が利用しにくい状況である。施設が建てられた頃と生活形態も変わってきており(和式→洋式, 畳→テーブル・イス), 利用者のニーズが変わってきている。
女性	6	指定管理	・指定管理者のトラブルを聞くが、任せきりにせず、きちんと管理していただきたい。